

# 日光川公園の概要(現況)

## 参考資料

名古屋市緑政土木局緑地利活用課

令和4年12月

## はじめに

日光川公園は、名古屋市南西部、日光川の河口左岸に面する面積11.52ha の都市公園です。平成 2 年度に都市計画事業認可を受けて敷地造成を行った後、平成 4 年度から「市民が 1 日ゆったりと過ごせる親水レジャープール公園」として整備工事を始め、平成 6 年度に「サンビーチ日光川」として開園しました。開園以来、屋外レクリエーション需要に応えるレジャープールとして多数の来場者を迎えていましたが、多くの施設が耐用年数を経過するとともに、老朽化が進んで大規模な修繕や施設更新を要することなどから、令和 3 年度にプールの営業を終了しました。

## 目次

1. サンビーチ日光川の担ってきた役割.....	2
2. サンビーチ日光川の施設概要.....	3
3. 立地条件 .....	5
(1)気象.....	5
(2)地形、地質、廃棄物.....	5
(3)植生・生物 .....	7
(4)景観 .....	8
(5)用途地域・人口.....	9
(6)土地利用 .....	10
(7)防災 .....	11
(8)交通 .....	12
(9)周辺施設.....	14
4. 市民ニーズ .....	15
5.主な活用実績 .....	16

## 1. サンビーチ日光川の担ってきた役割

整備当時、海水浴をするためには知多半島南部まで行かなければならず、市内に本格的なレジャープールがなかったことから、日光川の雄大な河口風景を取り込み、市民が1日ゆったりと過ごせる親水レジャープール公園、「サンビーチ日光川」として整備されました。

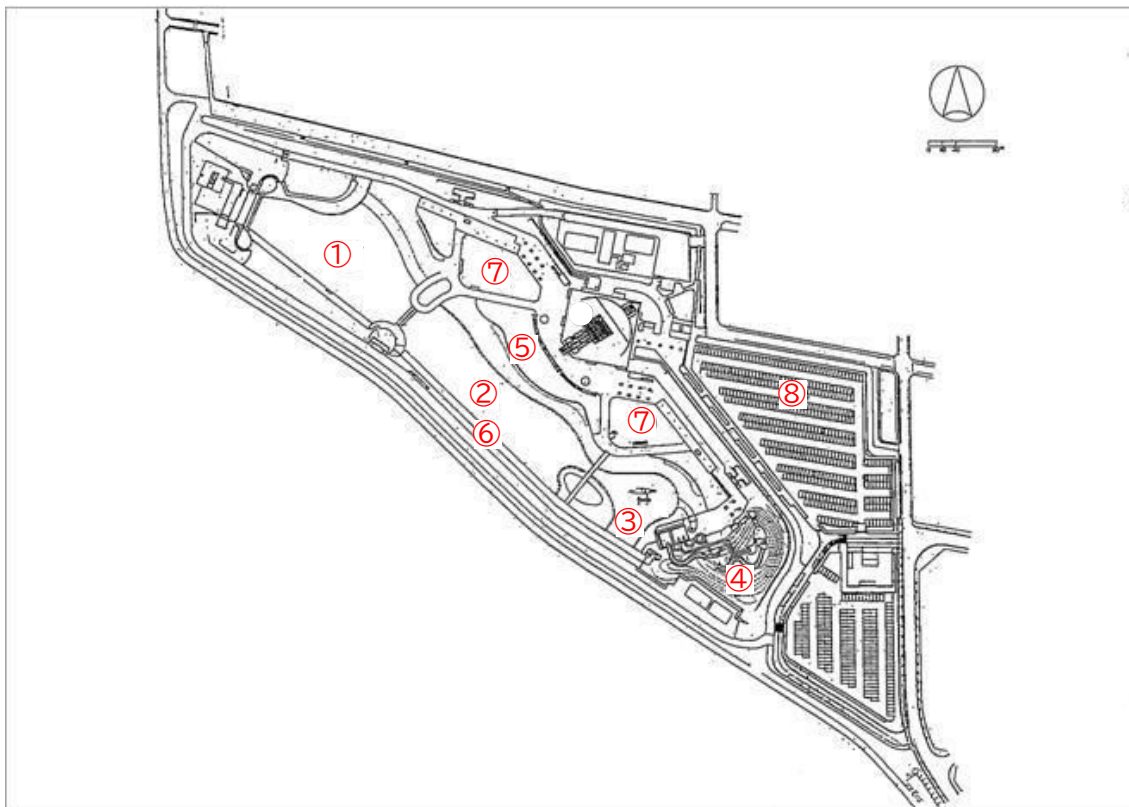
公共交通機関によるアクセス性の悪い公園ではありましたが、市内で他に無い特色ある公園として整備され、年間13万人前後(最大約22万人)が来園する場所として、多くの人が1日ゆったりと楽しめるレクリエーション空間としての役割を担ってきました。

開園年度	平成6年
都市公園法による設置	平成6年6月25日
公園面積	11.52ha
所在地	名古屋市港区藤前五丁目、南陽町大字藤前新田地内
公園種別	運動公園
都市計画決定年度	昭和33年2月15日 番号 5・5・6号(総合公園) 面積 10.5ha



日光川公園(サンビーチ日光川)航空写真

## 2. サンビーチ日光川の施設概要



### 主な施設一覧

①	ウェーブプール	水面積 6,700 m <sup>2</sup>
②	ビーチプール	水面積 6,500 m <sup>2</sup>
③	キッドプール	水面積 2,100 m <sup>2</sup>
④	ウォータースライダー	鉄筋コンクリート製樹脂吹付 1本
		ガラス繊維強化プラスチック製 2本
		着水プール 水面積 235 m <sup>2</sup>
⑤	砂浜	3,000 m <sup>2</sup>
⑥	サンデッキ (うち木製部分)	4,600 m <sup>2</sup>
		1,600 m <sup>2</sup>
⑦	芝生広場	4,175 m <sup>2</sup>
⑧	駐車場	公園内駐車場
		大型 駐車可 普通自動車 643台 身障者 7台 自動二輪70台



建築物一覧

	名称	構造	建築面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )
①	管理棟	RC造	1,094.17	3,058.87
②	中央機械室	//	192.0	192.0
③	第1汙過器置場・ポンプ室	//	150.0	150.0
④	排水貯留槽	//	0	0
⑤	造波機械室	//	215.9	215.9
⑥	一般プール用 オーバーフロー水槽機械室	//	11.34	11.34
⑦	第2汙過器置場・ポンプ室	//	90.0	90.0
⑧	便所A	//	42.58	42.58
⑨	便所B	//	42.58	42.58
⑩	便所C	//	19.09	19.09
⑪	便所E	//	19.09	19.09
⑫	便所F	//	60.12	60.12
⑬	発売機械室	//	17.50	17.50
⑭	給湯機械室	//	72.0	72.0
⑮	テント	S造	343.0	343.0
⑯	庇	//	5.12	5.12
⑰	監視員詰所	//	108.42	207.36

### 3. 立地条件

#### (1) 気象

名古屋市の気象は、太平洋気候区に属する典型的な東海型気候区であり、気象庁(名古屋2021年データ)によると、年平均気温は16.8℃で、年降水量は1998.5mm、年平均風速は2.9m/secです。

年間の最多風向きは、日光川公園に最も近い南陽支所のデータによると北北西で、次いで北西、北が多く、年間平均風速は2.8m/secです。植栽については、年間を通じて多い北方向の風を考慮するとともに、海が近いことから潮風の影響に配慮する必要があります。

(出典:日光川公園基本計画報告書 昭和59年)

#### (2) 地形、地質、廃棄物

日光川公園の敷地は、日光川と庄内川に挟まれた輪中地で、以前は海であったところを江戸時代末期に新田開発が行われ、低湿地農地として利用されてきたいわゆる「海拔ゼロメートル地帯」でした。

昭和34年の伊勢湾台風や地下水の汲み上げ等の影響により地盤沈下が進行したため、海水の侵入等により農地利用に不向きになりました。

その後、水防性の向上のため昭和43年から49年に名古屋市の都市廃棄物等の埋立てにより嵩上げされました。公園用地として盛土がされており、外周道路より平均して2m程度高くなっています。敷地は全体的に平坦ですが、浚渫土の埋土により多少の起伏があり、整備前の地盤高は海拔3~5mでした。整備前は、大半が草地で一部を野球場として使用していました。埋立て後、40年程度経過しており、現状では塩害やガスの発生は確認されておりません。

令和3年度に地質調査を行った結果は以下のとおりです。



(出典:日光川公園地質調査業務委託 令和4年1月)

名古屋市では、「土壤汚染対策法」及び「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」に基づき、市内の土壤・地下水汚染対策を推進しています。

今後の再整備にあたっては、上記の法令に基づき事前の届出が必要になり、整備内容等によっては調査命令が発出される可能性があります。有害物質が検出されると、その対策も必要となるため、再整備を進める際は、廃棄物層に十分配慮する必要があります。

### (3)植生・生物

整備前の当地域の植生は、ススキ草原になっていました。日光川に隣接していることなどから、敷地内の水辺にはガマ、マコモ、ヨシなどの水辺植物が見受けられました。

当地における整備前の構成種としては、セイタカアワダチソウ、ススキ、ヌスビトハギ、アカザ、カゼクサ、ヨモギ、メヒシバ、コスモス、オナモミ、エノコログサ、イヌタデ、スズメガヤ、ホウキギク、ヒメムカシヨモギ、クサネム、オオクサキビ、ケイヌビエ、コセンダングサなどの多種類の雑草が繁茂している状況でした。

(出典:名古屋市既存植生図 昭和 58 年調査)

当地で整備前の調査で観察された野鳥は、キジ、キジバト、シロチドリ、セキレイ、ヒバリ、スズメ等で、隣接する日光川では、カイツブリ、イソシギ、サギ類、マガモ、シロチドリ、カワウが観察されました。

東へ 2km の庄内川河口部は、鳥獣保護区に指定されており、市内で観察される 39 科 176 種の野鳥のうち、22 科 72 種の野鳥が観察され、日光川付近でも上記と同様の野鳥が観察できると考えられます。日光川公園も銃猟禁止区域に含まれています。

鳥獣保護区については下記ウェブサイトの「国指定藤前干潟鳥獣保護区特別保護地区」をご確認ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/sizen-ka/shizen/yasei/map/index.html>)





#### (4)景観

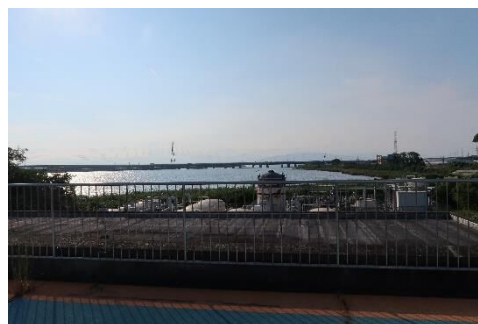
日光川公園周辺は、流通業務地区として整備されていますが、この地区は広い田園地帯や港湾部に囲まれていることから、広々とした空間の広がりを感じられます。

日光川公園内からの良好な景観として、北西から西方向に見られる鈴鹿山脈・養老山地(遠景)が構成する景観や、ランドマークとしての名港西大橋を中心とした港湾らしさの感じられる景観などがあげられます。

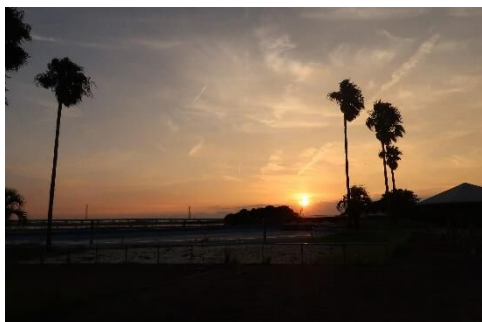
サンビーチ日光川においては、エントランスからプールの全景が見渡せ、プールの向こうに日光川の水面が見え、広々とした空間に砂浜やヤシの木のある海の雰囲気に近い景観が魅力です。また、夕日や夜景といった時間ごとに見せる景観の変化も魅力のひとつになっています。



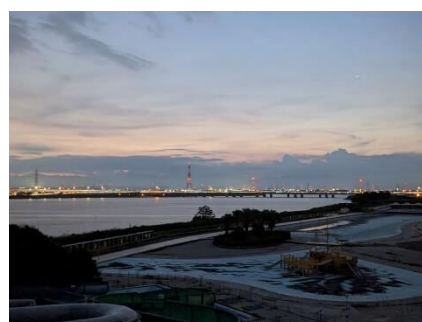
砂浜とヤシの木



日光川の水面と鈴鹿山脈・養老山地(遠景)



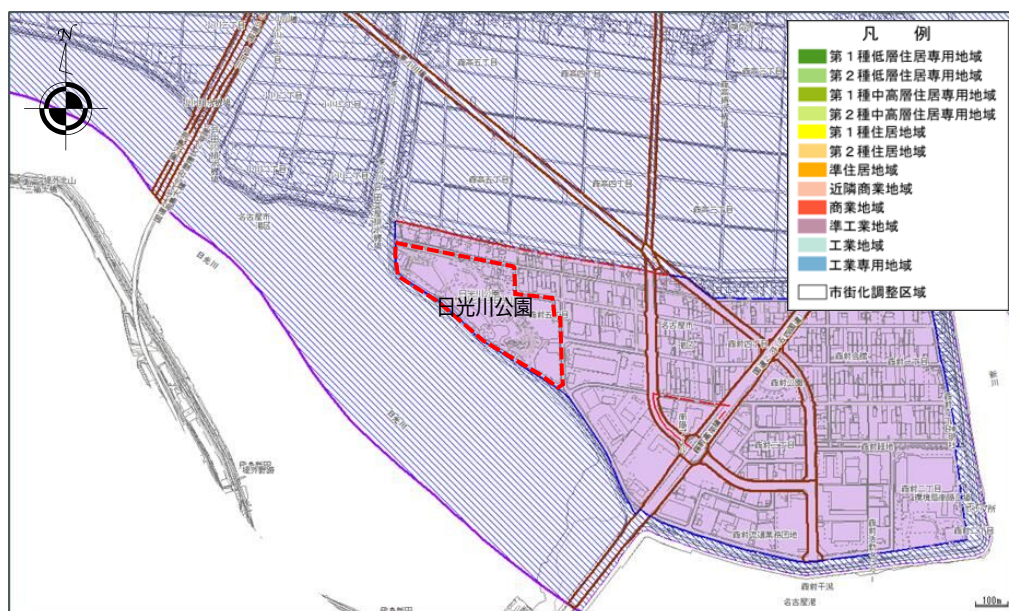
園内から見える夕日



高台から見る港湾の夜景

## (5)用途地域・人口

計画地は、広域都市間道路(名四国道)の通る流通物資のターミナル拠点として、市街化調整区域の端にスポット的に指定された準工業地域及び流通業務地区の中に位置しています。



日光川公園周辺は、上記のような土地利用であることから、他地区と比較して人口が少ない。「港区の世帯数と人口」(令和3年人口動向調査)によると日光川公園のある南陽学区は1286人/km<sup>2</sup>となっています。

(令和3年10月1日現在)

学区別	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数	人 口			性 比 (女=100)	1世帯 あたり 人員	人口密度 (1km <sup>2</sup> あたり)	令和2年	人口	人口
			総数	男	女				10月1日	増減数 (R2~R3)	増減率 (R2~R3)%
港 区	45.69	63,527	142,495	71,520	70,975	100.8	2.24	3,119	143,764	△ 1,269	△ 0.88
東築地	6.909	4,055	9,515	4,557	4,758	95.8	2.30	1,348	9,581	△ 266	△ 2.78
中 川	1.843	3,423	6,764	3,424	3,340	102.5	1.98	3,670	6,591	173	2.62
東 海	0.491	2,521	4,858	2,550	2,308	110.5	1.93	9,894	4,984	△ 126	△ 2.53
成 章	0.780	2,211	4,927	2,338	2,589	90.3	2.23	6,317	4,993	△ 66	△ 1.32
大 手	2.211	3,886	8,937	4,525	4,412	102.6	2.30	4,042	9,043	△ 106	△ 1.17
港 西	2.289	4,183	9,290	4,950	4,340	114.1	2.22	4,059	9,474	△ 184	△ 1.94
稲 永	2.434	3,640	7,338	3,629	3,709	97.8	2.02	3,015	7,449	△ 111	△ 1.49
野 跡	4.727	1,529	3,067	1,418	1,649	86.0	2.01	649	3,179	△ 112	△ 3.52
小 碓	1.181	3,896	8,407	4,012	4,395	91.3	2.16	7,119	8,508	△ 101	△ 1.19
正 保	0.894	3,022	6,810	3,386	3,424	98.9	2.25	7,617	6,891	△ 81	△ 1.18
明 徳	1.200	3,370	7,480	3,898	3,582	108.8	2.22	6,233	7,545	△ 65	△ 0.86
当 知	1.295	3,956	8,616	4,284	4,332	98.9	2.18	6,653	8,736	△ 120	△ 1.37
西築地	1.113	2,580	5,201	2,589	2,612	99.1	2.02	4,673	5,274	△ 73	△ 1.38
港 桑	1.314	4,001	8,086	4,135	3,951	104.7	2.02	6,154	8,209	△ 123	△ 1.50
高 木	1.536	3,796	9,056	4,721	4,335	108.9	2.39	5,896	9,067	△ 11	△ 0.12
神宮寺	1.086	1,930	4,526	2,315	2,211	104.7	2.35	4,168	4,548	△ 22	△ 0.48
南 陽	7.379	3,626	9,493	4,624	4,869	95.0	2.62	1,286	9,086	407	4.48
西福田	4.424	1,413	4,283	2,034	2,249	90.4	3.03	968	4,384	△ 101	△ 2.30
福 田	1.614	4,307	10,650	5,357	5,293	101.2	2.47	6,599	10,766	△ 116	△ 1.08
福 春	0.970	2,182	5,591	2,774	2,617	106.0	2.47	5,558	5,456	△ 65	△ 1.19

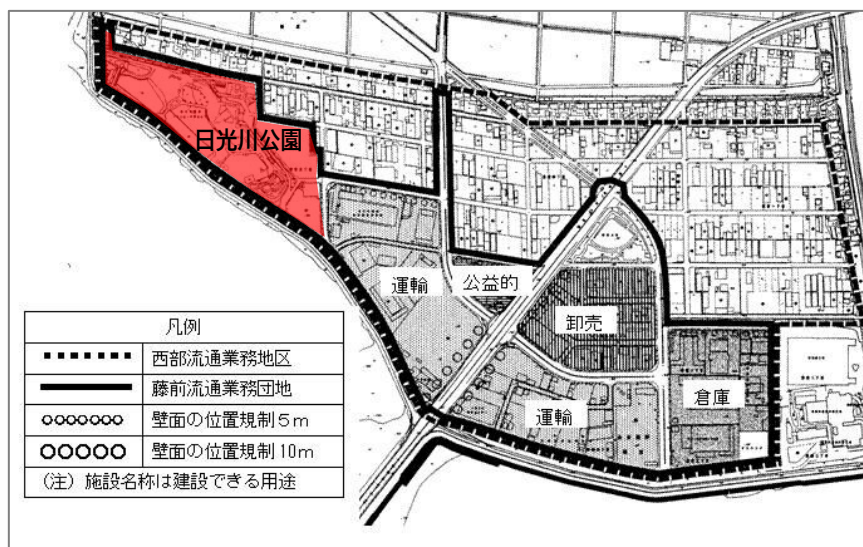
(注1) 本表の数値は、令和2年工勢調査結果確定値は集計中のため、令和3年10月1日現在の世帯数と人口は令和2年工勢調査結果原単位を基礎とした推計値である。

(注2) 港区の面積は国土交通省国土地理院「令和3年全国都道府県市区町村別面積調(10月1日時点)」によるものであり、学区面積は総務局企画部統計課が算出したものである。

(出典:名古屋市公式ウェブサイト 港区の世帯数と人口 令和3年人口動向調査)

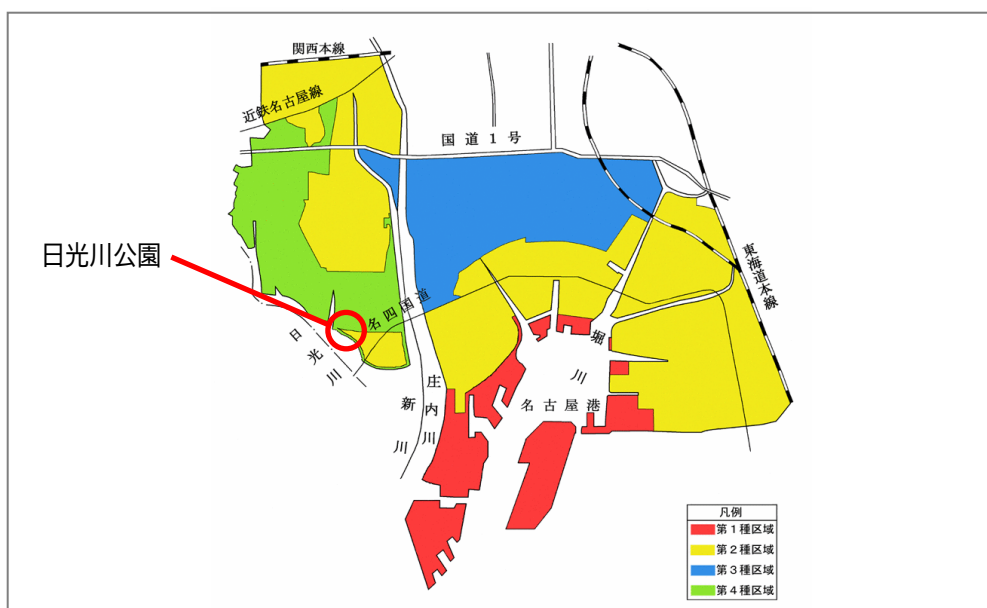
## (6)土地利用

名古屋市南西部の土地利用は、大半が農業振興区域に指定された農地であり、日光川公園はその南端に指定された市街化区域(準工業地域・流通業務地区)の中にあります。周辺の土地利用は、流通業務地区であることから主として倉庫・運輸施設等に利用が制限されています。



(出典:名古屋市公式ウェブサイト 流通業務地区(西部流通業務地区・藤前流通業務団地))

また、名古屋市臨海部防災区域建築条例により、災害防止の観点から建築物の1階の床の高さや構造に関する制限がなされており、日光川公園は第2種区域となっています。



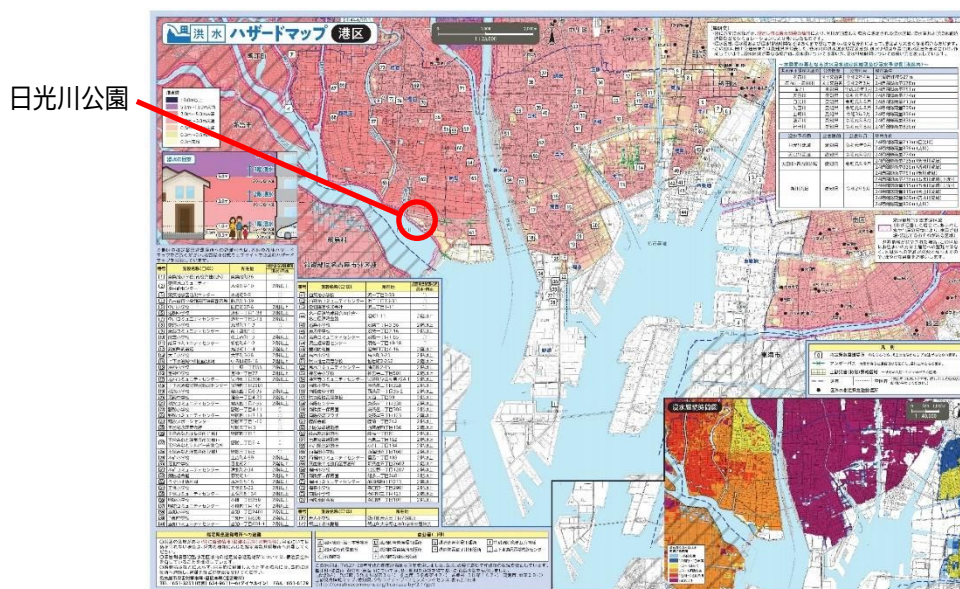
(出典:名古屋市公式ウェブサイト 臨海部防災区域)

## (7)防災

名古屋市地域防災計画の中で、日光川公園は、広域避難場所に指定されています。広域避難場所とは、主として地震火災が延焼拡大した場合に、周辺地域からの避難者を収容し、避難者の生命を保護するための場所です。再整備にあたっては、広域避難場所としての機能に加えて、公園利用者が一時的に避難できる施設や指定緊急避難場所(特に洪水などで逃げ遅れた人のためなど)としての機能の確保も期待されます。



避難所マップ



港区洪水ハザードマップ(令和4年6月)

ハザードマップの詳細は下記ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/405-5-23-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



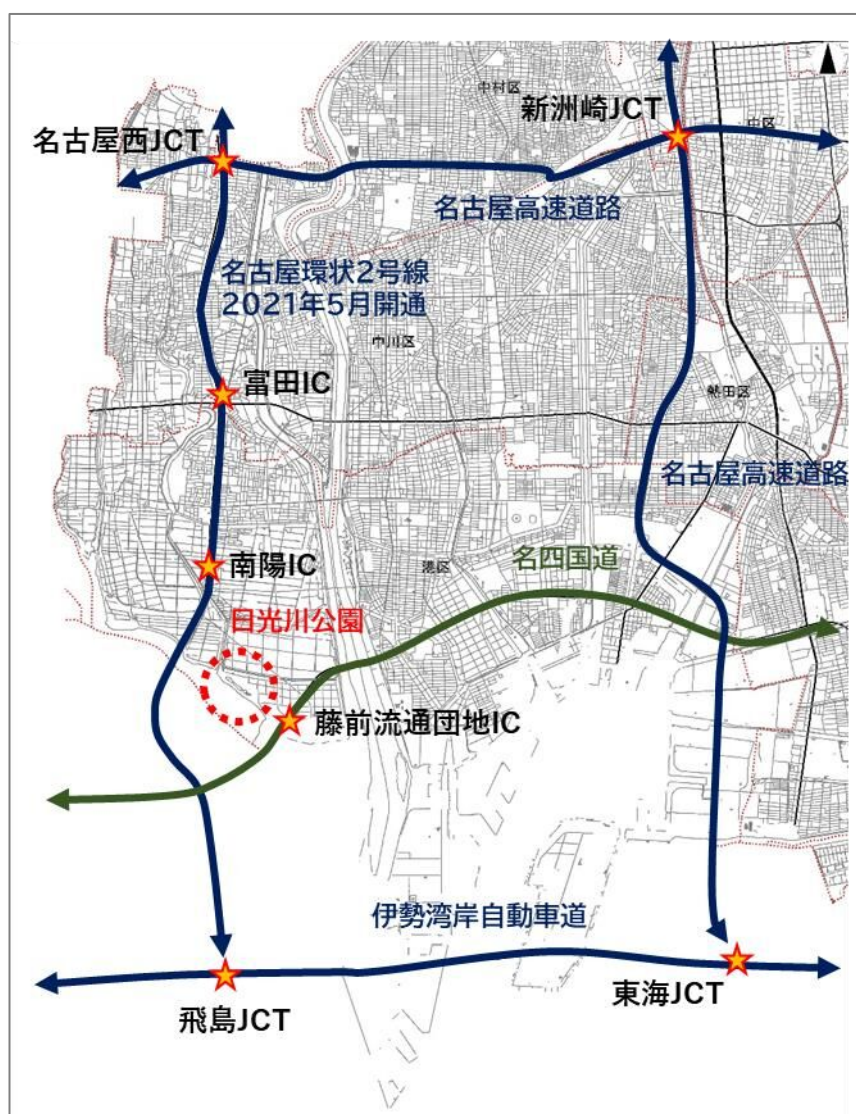
## (8)交通

日光川公園への交通アクセスに関する道路網及び公共交通機関については、次のとおりです。

名古屋市の道路網の概略は下図のとおりで、日光川公園近辺には広域幹線道路である「名四国道」と「名古屋環状2号線」が通っています。

また、2021年5月の名古屋西JCT－飛島JCT開通により、市内からはもとより、市外からの車でアクセス性も向上しています。

なお、日光川公園は名古屋市南西部、都心から約9kmに位置し、名古屋駅から車で約30分で移動が可能です。

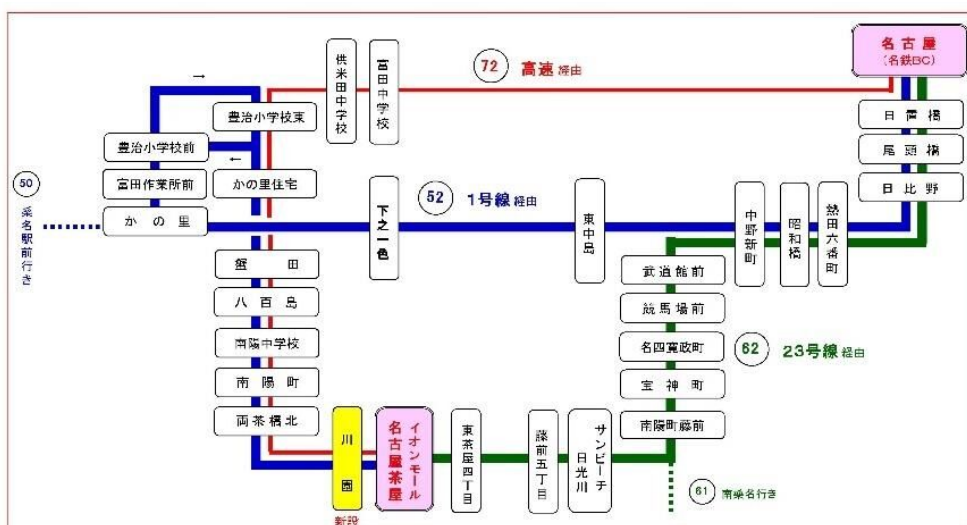


藤前流通団地ICから車で約2分、南陽ICから車で約3分

計画地への公共交通機関はバスに限定され、市バス(東海12系統)「日光川公園」及び三重交通バス「サンビーチ日光川」が利用可能です。



市バス(東海12系統)路線図



三重交通バス路線図

## (9)周辺施設

日光川公園周辺の主な公園緑地、施設等は下図のとおりです。



※地理院タイルを加工して作成

名古屋市内の主な公園緑地等は下図のとおりです。

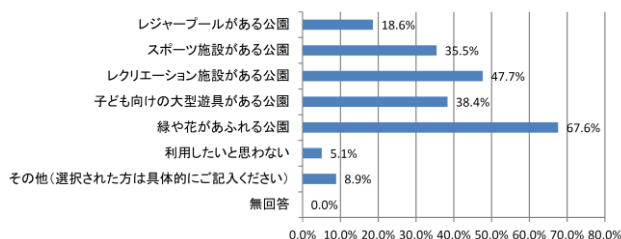


## 4. 市民ニーズ

「今後の日光川公園のあり方」について、令和2年度にネットモニターアンケートを実施し、市内在住の18歳以上の方500人に今後の日光川公園のあり方に対する考えをお尋ねしました（有効回答数451人）。

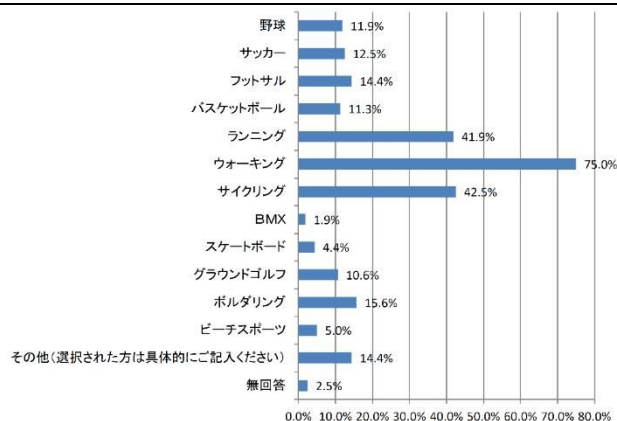
### 問1. あなたは、どのような公園を利用したいと思いますか(選択は3つまで)

「緑や花があふれる公園」と答えた人が67.6%で最も多く、次いで「レクリエーション施設がある公園」47.7%、「子ども向けの大型遊具がある公園」38.4%、「スポーツ施設がある公園」35.5%の順でした。



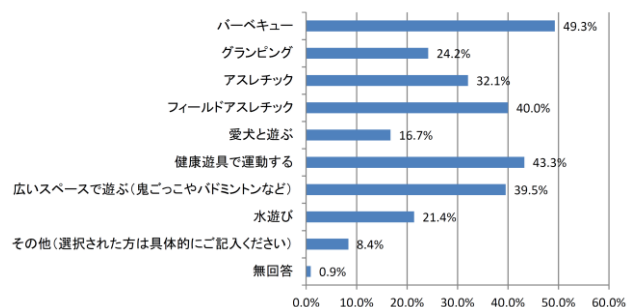
### 問2. あなたが公園でしたいスポーツは何ですか(選択は3つまで)

「ウォーキング」と答えた人が75.0%で最も多く、次いで「サイクリング」42.5%、「ランニング」41.9%、「ボルダリング」15.6%、「フットサル」14.4%、「サッカー」12.5%、「野球」11.9%、「バスケットボール」11.3%の順でした。



### 問3. あなたが公園でしたいレクリエーションは何ですか(選択は3つまで)

「バーベキュー」と答えた人が49.3%で最も多く、次いで「健康遊具で運動する」43.3%、「フィールドアスレチック」40.0%、「広いスペースで遊ぶ(鬼ごっこやバドミントンなど)」39.5%、「アスレチック」32.1%、「グランピング」24.2%、「水遊び」21.4%、「愛犬と遊ぶ」16.7%の順でした。





## 5.主な活用実績

過去にサンビーチ日光川のプール営業期間外において、プールの水面や駐車場を活用されています。

催事名	内容	開催頻度 利用者数見込
港消防署の操法大会 運転訓練	プールホース等の器具の操作訓練 駐車場での救急車両の運転訓練	年1回程度 年3回程度
キャスティング大会	投げ釣り技術を競う競技の大会 主催:日本キャスティング協会	年2~4回 1回あたり200~300人
キャスティングの練習場 インストラクター養成試験	日本キャスティング協会会員の練習場として開放 試験会場	10~4月 年間のべ600名
ドッグショー	駐車場を活用したドッグショー 主催:社団法人日本ケンネルクラブ	隔年1回 600名
ラジコン大会	駐車場を活用したラジコンカーのレース 主催:(株)タミヤ、県内のラジコンショップ	年8回程度 1回あたり 100~300人
バイクのイベント・講習会	駐車場を活用したバイクメーカーのイベント・講習会	不定期